

慈恵園だより

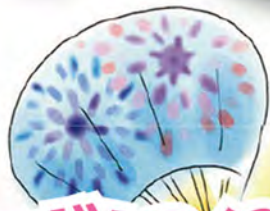
No.64

えがお

- 発行日/令和元年9月8日
- 発行所/芦別市旭町28番地
特別養護老人ホーム 芦別慈恵園
- 発行責任者/川邊弘美
- 印刷所/㈲ワタナベ企画いんさつ



芦別慈恵園ウェブサイト



暑さに負けずに盆踊り大会



新理事長就任にあたり

6月21日評議員会・理事会を経て、第5代理事長に西英昭氏が就任されました。

西氏は、慈恵園の評議員を14年間の務められており、慈恵園の地元である旭町の町内会長でもありますので、ボランティアとしても、なごみの丘の整備や避難訓練の指導などご縁を深く結ばせて頂いてきました。この度、岩間前理事長の退任に伴い、すべての理事、評議員の承認により理事長就任の運びとなりました。

西新理事長は「情勢が厳しい介護環境の中、社会福祉の新たな学びもして行きたい」と話されています。



盆踊り楽しみました



8月13日 曇りでしたが蒸し暑い一日でした。午後2時から5時近くまで慈恵園の各事業所で恒例の盆踊りを行ないました。職員は浴衣を着て少しお洒落にお盆らしい雰囲気になりました。

この日は、芦別盆太鼓継承会の方4人も来てくださり力強い音を響かせてくれ、太鼓の音にひかれて、さくらハイツの方も黙って座ってられないと踊りにやって来ました。1階から2階、デイサービス、かざぐるまの順に場所を変え踊り続ける事3時間余り。お客様もご家族も音楽がかかると昔取った杵柄と自然に体が動き踊り、笑顔があふれ、昔を思い出して懐かしさに涙する方も沢山いました。最後に渾身の太鼓のご披露で締めくり感謝の拍手がユニットに響きました。お陰様で暑い夏を乗り切る事が出来ました。参加いただいた皆さん有難うございました。

施設長 川邊 弘美



芦別盆太鼓継承会の皆さん



広報委員会からのお知らせ

撮影中のプロモーションムービーが完成しました!! 「介護の仕事は素敵!!」のタイトルで慈恵園の雰囲気がよく伝わるようなムービーに出来上がりました。HPでも公開しています。ぜひご覧ください。





5月15日 炊き出し訓練を行いました *

今年も自然災害時の炊き出し訓練を行いました。今回は、新たに導入した『炊き出しステーション』を使用しカレーライスを作りました。『炊き出しステーション』とは、五徳と鍋、炊飯器がまとまって収納され、移動ができるようキャスター式になっています。実際に調理して火や水加減などを学び、試食をして、ご飯が上手に炊けることもわかりました。また、カレーや豚汁などの汁ものも調理が可能です。災害時の不安な時にスムーズに温かい食事を提供し、少しでも安らげるよう、毎年炊き出し訓練を続けていきます。

7月3～4日

～全道老人福祉施設研究大会～



第39回全道老人福祉施設研究大会が開催されました。4分科会61名の発表があり、慈恵園からは3名の職員が日頃の取り組みについて発表させて頂きました。

その中で鈴木業務係長の発表した「顔が見える町『芦別』だからこそできる人材活用と可能性について～10代から70代まで活躍できる社会福祉法人を目指し～」が、充実した福利厚生や多世代が安心して働ける環境である事を評価して頂き、見事、優秀賞を頂く事が出来ました。また10月には全国研究大会に参加します。今回より更にレベルアップした発表をして来たいと思います。

7月12日

在宅ケアのための料理と介護講座

今回のテーマは「お家でお客様（来客者）にもお出しできるやわらか食」でした。メニューは長芋入り卵の茶巾寿司・きたあかりの肉じゃが・トマトサラダ・はんぺんの澄まし汁・やわらか白玉のきな粉餅です。飲み込む力が衰えていても、見た目の美しさを保ったまま楽しめるやわらか食。食材により柔らかくするための工夫は異なりますが、今回は豚肉を柔らかくするために『やわらか水（水1ℓに対して食用の重曹を1g…ひとつまみ程度）』を用い、豚肉を浸けて20～30分程度おいて調理します。可能であれば一晩おくとさらに柔らかく美味しくなります。

毎年、様々な工夫で簡単なやわらか食の調理を学んでいただくと共に介護講座で介護の知識もお伝えしています。



令和元年度 人材育成研修

【講師】 北斗人材教育プラン
代表 安東仁志先生

- ①中級職員コース
3～5年目の多職種……………5名
- ②リーダーコース
介護職等のリーダー……………5名
- ③マネジメントコース
幹部職員……………4名

各コースではリーダーとして自分をどう成長させるか、法人の方向性に沿って自分を動かす仕組みやプロ意識、次世代を担う職責の中で結果を出す方法、人の育て方などを学んでいます。受講者は学んだ事を日々の仕事で実践し真剣に取り組んでいます。



今年も100kmウォークCP(チェックポイント)運営しました!!

6月15日～16日開催された第18回チャリティー100kmウォーク大会で第3CPの運営を行いました。芦別慈恵園は地域交流の一環として平成23年度の第10回大会から参加しており、CPの運営は3回目です。当日は、芦別市職員、芦別観光協会、旭町町内会、ラルズ芦別店、一の薬局などからご協力を頂き50名を超えるサポーターが集まりました。マッサージや水分補給、栄養係手作りのおやつも提供し好評の声を頂きました。900名を超えるウォーカーを支えるには、慈恵園だけでの運営は難しく地域の皆様のご協力でサポートが行うことができ大変にありがとうございました。



6月30日 みんなで介護を考える会 事業所合同研修会に参加して

古瀬先生の講義「認知症の薬物療法と非薬物療法」を聞かせていただきました。医療面では、IPS細胞によるパーキンソンの治療、間葉系幹細胞移植によりアルツハイマーに対応した治療の臨床実験を行なうなど、とても発展しているとのことでした。

また、非薬物療法では、有酸素運動や音楽療法などが効果的だそう、実際に慈恵園の取り組みで学習療法やふまねつを継続して行なう事で、認知症状の緩和や注意、集中力、体感筋力(ふらつき防止)などに効果がでてきている方も数名おられます。

研修会に参加して、改めて今後も症状緩和を目指して、「デイサービスに行っていたできるよう取り組んでいきたいと思いました。

サブリーダー

田村 恵美



＊なごみの丘オープンニングセレモニー開催しました＊

5月15日、前日からの悪天候のため屋内での開催となりました。滝川市の吉田朝雄様のアコーディオン演奏で『歌声喫茶』が行なわれました。懐かしい曲の数々にお客様も大きな声で歌われて楽しいひとときを過ごされていました。



●なごみの丘

足湯コーナーをご利用ください
オープン期間中、毎日9時～17時まで利用出来ます。タオルなどご持参の上、自由にご利用下さい。





かざぐるま

6月23日、中央団地町内会第29回ふれあい大運動会に、お客様20名、ご家族27名、職員9名の計56名で参加させて頂きました。当日は晴れて気候の良い中、パン食い競争、運命走、玉入れ、芦別節踊りなどの競技に参加させて頂きました。お客様、ご家族様が一緒に楽しく過ごせる運動会に参加させて頂き、中央団地町内会の皆様には感謝の気持ちで一杯です

終了後は家族懇談会を開催し、昼食のお赤飯を食べながら日頃のお客様の様子やかざぐるまの取組等を説明させて頂きました。ご参加ありがとうございました。



今年から複合型在宅サービスとなり、デイサービス、なごやかサロン、もみじの家、ショートステイのお客様と一緒に掛ける最初の行事として、8月19日から23日の5日間、夏のレクリエーションで道の駅ヘドレイブに行ってきました。

毎年楽しみに参加されている方も多く、今年もソフトクリームを召し上がり、芦別産の野菜などを購入されたり、道の駅を職員と一緒にデートするなど、それぞれが楽しい時間を過ごしていました。

複合型在宅サービス

くらし 活き活き委員会



毎月1回行なわれる「カラオケ会」、とても賑やかな会となっています。皆さん最初は「歌えるか分かんないわ…」とお話しされる方も多いのですが、思い入れのある曲がかかると表情もキラッとされ、右手にマイク、左手で音程を取りながら歌手さながらの構えで歌唱されます。終わる頃にはマイクを離さないくらい活き活きとした顔になりとても楽しそうです。これからも喜ばれるように盛り上げて行きます。



えがお塾ニュース

6月6日

西宮元教室開講しました



スマイル中尾のリハビリ日誌

当園で生活されているお客様の中には歩行器を使って歩いている方がいらっしゃいます。歩行を助ける大変便利な物ですが、一つ注意している事があります。それは、歩行器にもたれかかりすぎないことです。もたれてしまう分、足であまり踏ん張らなくなってしまうため、せっかく歩いているのに筋力低下につながりやすいのです。対応として、歩行器を高めにして背筋が伸びやすい状態にしたり、歩行器を使わず職員と手をつないで歩く機会を多くしています。声掛けとともにそういう環境を作る事が筋力の持続に効果的だと思います。



百歳おめでとうございます!!

● 畠尾 キミ子様 ●

眠られて過ごされることが多いですが、朝食の時には起きて、車いすで他のお客様と一緒に過ごされております。職員が挨拶をしたり声を掛けると時々ですが目を開けられて笑顔になられたり、頭をなでてくださったり「ありがとう」と言って下さることもあります。ご家族様のお話しでは、お孫さんをととても可愛いがられていたそうなので、職員に対しても孫のように優しくして下さいさるのだと思います。



● 菊池 シマ様 ●

新潟生まれで今でも新潟の住所を忘れる事なく元気な声でお話をされます。かざぐるまで暮らすようになり5年、現在も両手引きで歩行をされています。100歳のお祝いでは生寿司が食べたいとの事で管理栄養士の手作りのお鮓を笑顔でたくさん召し上がっていました。



民謡コンサート♪

芦別民謡・秀晴会の皆さん



「肉の会」で暑さを乗り切ろう!!

たくさんの職種で構成された「栄養ケアチーム」は入居のお客様の元気な暮らしと看取りまでを支えています。毎年、暑い夏を乗り切るためジンギスカンを食べる「肉の会」を開催、ご家族、ボランティアさんと一緒に食事しています。お握り作り、野菜の調理からお客様にお手伝い頂き、ノンアルコールビールやカクテルなどで乾杯! 今年は2つのユニットが屋外で開催、お天気に恵まれご家族と久しぶりに食事をされる方、この会をきっかけに食欲が戻る方もいて、楽しく笑いが絶えない美味しい会となりました。



ひろば



上芦別小学生の3年生が授業で慈恵園に来てくれた時の皆さんの言葉を紹介します！

第一声はやはり「**あう可愛い！**」

「**あう～！こんなに小さい！私の孫より小さいよ！**」

「**やっぱり若い子はいいね～こっちも元気になるわ**」などなど

やはり若い世代が会いに来て下さるとお客様もとっても表情が柔らかくなり、エネルギーになるように感じます！

ぜひ、お孫さん世代やひ孫さん世代の皆さんも、おじいちゃんおばあちゃんに会いに来てくださいね！！



イベント弁当 6月23日



初めての「いなり寿司弁当」
122食の注文を頂き、大好評でした。
次回は9月と12月です。

ご厚意ありがとうございます。
ごぞいませ。

(令和元年6月～8月) 敬称略

◇寄付物品

芦別市 廣川 公江、西本 三平、

戸草内 明、石崎 武、

山野 守、藪 七三子、

(ゆ花季 代表取締役 柳瀬広道

道北アークス

ラルズマート芦別中央店

◇訪問、ボランティア

芦別民謡会 秀晴会

芦別盆太鼓継承会

ともしび会、はまなす、

ふきのとう、マーガレット、

ミケ、アトム、スマイル、

もも、なごやか、桜井朝子、

吉田朝雄



千人踊り



肉の会



慈恵園杯ミニバレーボール大会



スタッフ★コラム

人生100歳時代と言われる様になって来ましたね。今号でも2名の方が100歳を迎えました！お好きな物を食べ、メリハリのある生活がお元気でご長寿に過ごす秘訣なのでしょうか？ すぐに車を使い運動と縁遠くなってきた私は「ひろのば体操」から習慣にして行こうと思います。（恵）

たくさんのご参加ありがとうございました



芦別慈恵園 インスタグラム

